

### 尿失禁

尿道留置カテーテル、過活動性膀胱治療薬（ポラキス、バップフォー、八味地黄丸など）  
可能ならば腹部超音波検査装置、検尿用試薬など

### 泌尿器疾患

治療薬では、基本的な救急薬品に加えて、抗生剤（内服、点滴）、鎮痛解熱剤、止血剤、イオン交換樹脂（カリメートなど）、過活動性膀胱治療薬などのほか、輸液（生理食塩水、乳酸加リンゲル液、1号輸液、3号輸液、4号輸液、5%ブドウ糖液など）。また医療機器としては、体温計、血圧計のほか、尿道留置カテーテルセット。また検査機器として尿試験紙、尿沈渣機器（遠心分離機や顕微鏡）、簡易血算測定装置、簡易生化学検査測定装置、腹部超音波検査装置などが必要と考えられる。

### 歯科疾患

消炎鎮痛剤（ボルタレン、ロキソニン、セデスなど）

内服抗生剤（感染症参照）

流動食、口腔ケア用品（歯ブラシ、スポンジブラシなど）、義歯洗浄液など、

備蓄医薬品  
 向精神病薬

	抗精神病薬	抗うつ薬	抗不安薬	睡眠薬	気分安定化薬
巡回	セレネース0.75mg錠あるいは リスパダール内服液(1mg/ml)	不要	ホリゾン2mg錠 ホリゾン10mg注射液	アモバン錠7.5mg	不要
医療避難所	セレネース0.75mg錠 セレネース注5mg リスパダール内服液(1mg/ml)	不要	ホリゾン錠2mg リーゼ5mg ワイパックス 0.5mg	アモバン錠7.5mg エバミール錠1mg	デパケン 100mg
支援病院	セレネース注5mg リスパダール内服液(1mg/ml) セレネース0.75mg錠 ジプレキサザイデイス錠 0.5mg	SSRI等の各種抗うつ薬 テトラミド10mg	ホリゾン錠2mg リーゼ5mg ワイパックス 0.5mg	ロヒプノール注射液 アモバン錠7.5mg エバミール錠1mg	デパケン 100mg テグレートール100mg
三次救急病院	セレネース0.75mg錠 セレネース注5mg リスパダール内服液(1mg/ml) セロクエル錠25mg ジプレキサザイデイス錠 0.5mg	SSRI等の各種抗うつ薬 テトラミド10mg アナフラニール注射液	ホリゾン錠2mg リーゼ5mg ワイパックス 0.5mg	ロヒプノール注射液 アモバン錠7.5mg エバミール錠1mg	デパケン 100mg テグレートール100mg

三次救急では隔離室等、興奮の激しい患者への対応と、せん妄を合併している身体疾患治療をおこなえる設備が必要である

## 精神障害（ストレス障害）

パニック発作の鑑別に心電図。

被災地ではホリゾン 2mg 錠、10mg 注射液。リスパダール内服液、セレネース 0.75mg 錠、ベンザリン 5mg 等を用意する。

支援病院では SSRI などの抗うつ剤各種の用意が必要。

## うつ病

### 1. 睡眠確保のための薬剤

超短時間作用型睡眠剤（マイスリー、アモバン等）

短時間作用型睡眠剤（エバミール、ロラメット等）

### 2. 不安を制御する薬剤

抗不安薬（リーゼ、ワイパックス等）抗うつ薬（選択的セロトニン再取り込み阻害薬（SSRI）、パキシル、ルボックス等。セロトニンノルアドレナリン再取り込み阻害薬（SNRI））にも不安を抑える効果があるが効果発現に時間がかかることが多い。

## 認知症に伴う精神症状

睡眠確保：ベンザリン等

精神的安定：セレネース錠、リスパダール内服液、ホリゾン等

## 精神疾患（せん妄）

検査機器：心電図、SpO2 測定

医薬品：セレネース注射液、内服錠（0.75mg）

リスパダール内服液 1mg

ロヒプノール注射液、生理食塩水 100ml

可能ならば、テトラミド錠、デパケン錠、レスリン錠

## 救急薬品

蘇生に使用する薬剤は AHA（American Heart Association）ガイドラインからも緊急時に使用する薬剤は決まっており、最低その薬剤は必要である。

その他の緊急時に使用する薬剤は、被災地の状況、発災からの日数などでも変わり、使用する薬剤の内容も多少変わってくることに注意が必要である。

被災地の状況を的確にとらえ、必要な薬剤を追加することも重要である。

下記に最低限度の薬剤を示す。

	薬剤	適応、備考
酸素	酸素ボンベ	高齢者に問わず、低酸素改善の為
吸入薬	ベネトリン (サルブタモール)	喘息発作に対し、気管支拡張目的に使用。 β刺激剤のサルブタモールと、高齢者は降圧目的にβ遮断剤を内服しているため、抗コリン剤のイプラトロピウムを備蓄する。
	アトロベント (イプラトロピウム)	
	メプチンエアー (プロカテロール)	
	ミオコールスプレー (亜硝酸)	狭心症発作時に使用
注射薬	アドレナリン注シリンジ ボスミン (アドレナリン)	心肺停止、アナフラキシーショック
	グルカゴン	アナフラキシーショック (アドレナリンが無効の患者、特にβ遮断薬投与患者に)
	硫酸アトロピン	心肺停止、除脈
	リドカイン注シリンジ キシロカイン静注用 (リドカイン)	心室頻拍
	カルチコール (グルコン散カルシウム)	高カリウム血症
	硫酸マグネシウム	難治性心室頻拍
	イノバン、プレドパ(ドパミン塩酸塩)	ショック、低血圧
	ペルジピン(ニカルジピン塩酸塩)	高血圧緊急症
	ジゴキシシン	頻脈、心不全
	50%or20% ブドウ糖	低血糖発作末梢静脈からの投与は静脈炎予防から20%の方が望ましい
	ホリゾン、セルシン (ジアゼパム)	鎮静、痙攣
	サクシゾン、ソルコーテフ ソルメドロール (ステロイド)	喘息発作、アナフィラキシーショック
	ブスコパン (ブチルスポコラミン)	鎮痙
	ソセゴン、ペンタジン (ペンタゾシン)	鎮痛
沈降破傷風トキソイド	破傷風予防	
局所麻酔	キシロカインポリアンブル (0.5%、1%)	局所麻酔薬
内服薬	ノルバスク OD、アムロジン OD (2.5mg、5mg) (アムロジピン)	高血圧(飲水が出来ない場合があるので口腔内溶解錠が望ましい)
外用薬	アンヒバ、アルピニー座薬 (100、200mg) (アセトアミノフェン)	鎮痛、解熱
	ボルタレン座薬 (12.5、25、50mg) (ジクロフェナクナトリウム)	鎮痛、解熱
	ゲンタシン軟膏	外傷など
	リンデロン VG 軟膏 (ステロイド、抗生性物質配合剤)	熱傷など
	イソジン液	消毒
	オスバン、プリビーシー (ベンザコニウム塩化物)	
エタノール		

## 頭部外傷

①気道管理セット（経鼻エアウェイ、口腔エアウェイ、舌圧子、携帯用吸引セット、バッグマスク、高度の気道確保器具（気管挿管セット）など）②酸素投与（酸素ボンベ、経鼻カニューラ、酸素マスク、リザーバー付マスク）③パルスオキシメーター④カプノグラフィ⑤輸液（乳酸リンゲル、または酢酸リンゲル）、マンニトール⑥血圧計⑦体温計（状況に応じて深部体温測定）⑧ガーゼ、包帯⑨ペンライト⑩ネックカラー⑪聴診器などが挙げられる。

## 老年症候群

医薬品としては、①輸液（生理食塩水、乳酸リンゲル液、1号輸液、3号輸液、4号輸液、5%ブドウ糖液）、②抗菌薬、③鎮痛剤、④酸素（鼻カニューラ、マスク）

医療機器としては、①体温計、②血圧計、③パルスオキシメーター、④心電図計、⑤簡易血算・生化学検査測定装置

## 乏尿・無尿

フォーリーカテーテルほかの尿道カテーテルと挿入セット

補液（5%ブドウ糖、生理食塩水、1号輸液、3号輸液など）

抗菌薬

鎮痛薬（ブスコパン、ソセゴン）

太い留置テフロン針（16G）

カリウムイオン交換樹脂（注腸用）

グルコン酸カルシウム

パルスオキシメーター

可能ならば

簡易血算・CRP測定装置

生化学検査測定装置

腹部エコー

沈渣用顕微鏡と試薬

遠心分離機

## 泌尿器症候（血尿）

止血剤（アドナ、トランサミン）

抗菌薬（LVFX、CEZ、CTM、PIPC等）

鎮痛薬（ブスコパン、ソセゴン）

輸液（生理食塩液、乳酸加リンゲル、1号輸液、4号輸液、5%ブドウ糖液）

ショック用薬（ドパミン、メイロン）

尿試験紙

尿道カテーテル

生理食塩水

可能ならば

沈渣用顕微鏡、試薬、遠心分離機

簡易血算・CRP測定装置

生化学検査測定装置

携帯型エコー

トロンビン末など

## 転倒・骨折

医薬品、治療用として、

① 輸液（生理食塩水・乳酸加リンゲル液・1号輸液・5%ブドウ糖液）

② 酸素（鼻カニューラ・マスク）

③ 頸椎、胸腰椎固定用コルセット、関節簡易固定用のシーネと包帯。

④ 蘇生用薬剤（アドレナリン、ノルアドレナリン、硫酸アトロピン）

ー救急センター医師の指導下で。

⑤ 抗てんかん薬（ジアゼパム、フェニトイン）ー救急センター医師の指導下で。

医療機器として、

① 温度計

② 血圧計

③ ペンライト、瞳孔簡易計測定規

④ 舌圧子

⑤ 経皮酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)計

⑥ 血糖簡易測定キット

⑦ 心電図計

⑧ 点滴セット、点滴用台、微量輸注用ポンプ

⑨ AED もしくは DC 除細動器

## 【Ⅶ 高齢者家屋の防災処置】

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震など、地震の際には、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって、尊い命を失ったり、大ケガをしたりしました。「大地震では、家具は必ず倒れるもの」と考えて、日頃から家具の固定や配置の見直しで「安全空間」を作っておきましょう。

分類	チェック欄	品目	内容
家の中	<input type="checkbox"/>	食器棚	重いものは下に収納して重心を下げる。 上端の両サイドを、L字金具で壁の棧の部分と固定するか、突っ張り棒で天井に固定する。 棚の中には柔らかい敷物、ゴム製の敷物を敷いて食器棚が滑らないようにする。 開き戸式の戸棚には、止め金具をつける。 棚にさんをつけて中の物が飛び出しにくくする。 ガラス扉には、飛散防止フィルムを貼る。
	<input type="checkbox"/>	冷蔵庫	転倒防止ベルトで壁に固定する。または専用の金具を使って床に固定する。
	<input type="checkbox"/>	電子レンジ	粘着性マットで固定する。
	<input type="checkbox"/>	テレビ	テレビは家具の上には置かず、裏側をヒートンと針金などで固定する。 薄型テレビの場合は、粘着性マットやストラップで固定する。テレビの大きさによってマットを使い分ける。 また、テレビの上には花瓶や水槽などの水ものは置かない。水が入ると感電事故や火災の原因になる。
	<input type="checkbox"/>	照明器具	吊り型照明器具は、既にある吊り具に加えて補助ひもで補強する。特にガラス製照明器具は重いので注意が必要。 蛍光灯は、蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。
	<input type="checkbox"/>	家具・タンス・本棚	家具の上は、L字金具で壁の棧の部分と固定するか、突っ張り棒で天井と固定する。カラーボックスや空のダンボールなどで天井までの空間をピッタリと埋めてしまうようにしてもよい。また、2段重ねタイプの場合はつなぎ目や金具で連結する。衣類や本は重いものを下に、軽いものを上に置く。 家具の足元の前面に、折り畳んだ紙や専用の転倒止めなどはさみ込み、壁にもたれるような角度にする。 本棚は、端の硬い部分にヒモやベルトなどを取り付けて中の本が飛び出さないように工夫する。
	<input type="checkbox"/>	ピアノ	ピアノの下にもぐり込むと大変危険。ピアノの脚は、ふだんは車受けの上に置いてあるので動くことはないが、震度5弱以上の揺れでは、車受けからはずれ、床の上を滑り出す恐れがある。対策としては、本体後ろの壁や柱に固定する、転倒防止具を取り付ける方法がある。
	<input type="checkbox"/>	ストーブ	耐震自動消火装置つきのにし、周囲に燃えやすいものを置かない。また、片付けるときは乾電池を外しておく、火災防止になる。
	<input type="checkbox"/>	額縁	大きめのヒートン金具としっかりしたひもや鎖で留める。また、ガラスが外れないようテープで留める、ガラス面は飛散防止フィルムを貼る。
	<input type="checkbox"/>	エアコン	L字金具、あるいは型に合わせた支持金具で、壁にしっかりと固定しておく。
	<input type="checkbox"/>	窓ガラス	飛散防止フィルムを貼る。
	<input type="checkbox"/>	カーテン	防災加工のものに取り替える。
	<input type="checkbox"/>	避難時の通路となる玄関や部屋の出入り口には、家具や荷物は置かない。	
<input type="checkbox"/>	家具は人の出入りの少ない部屋にまとめて置く。		
<input type="checkbox"/>	寝室、普段居る部屋には大型の家具を置かない。		
家の外	<input type="checkbox"/>	ブロック塀	ひび割れ、崩れかけていないか？ 高さが2.2m以下であるか？基礎は地下35cm以上埋め込まれているか？ 支えとなる控え壁はあるか？また3.4m以下の間隔で設けてあるか？ 鉄筋は基準通り入っているか？基準は、直径9mmの縦筋が80cm以下の間隔で入っていて、横筋はしっかりと固定されていること。
	<input type="checkbox"/>	プロパンガス	プロパンガスのボンベは、上下2本の鎖で壁にしっかりと固定する。
	<input type="checkbox"/>	屋根瓦、アンテナ	ひび割れ、ずれがないかを点検し、危険なものは固定するか、専門業者に依頼して修理・交換する。
	<input type="checkbox"/>	外壁、よう壁	ひび割れやズレなどが生じていないかを点検し、問題があれば専門業者に依頼して修理する。
	<input type="checkbox"/>	ベランダ	手すりにさびやグラつきがないか、植木鉢は落下しないように低い位置に置くようにする。
	<input type="checkbox"/>	基礎部分	割れたり沈下していないか？
	<input type="checkbox"/>	庭に避難経路が確保されているか？、粗大ごみなど、避難の妨げになるものが置いていないか？	

## 【IX 高齢者の災害時緊急持ちだし用品】

緊急持ちだし用品とは、避難するとき最初に持ち出すもの。両手が使えるリュックサックなどに、避難生活に必要なものをまとめて、目のつきやすい所に置いておきましょう。

分類	チェック欄	品目	内容
食品	<input type="checkbox"/>	水	飲料水は1人1日3リットル目安、ペットボトルや缶入りのミネラルウォーターのほか、防災タンク(ポリタンク)にもためておく。風呂や洗濯機の水も抜かず貯めておくと、生活用水として利用できる。
	<input type="checkbox"/>	米、アルファ米、無洗米	
	<input type="checkbox"/>	レトルト、インスタント食品、缶詰	
	<input type="checkbox"/>	その他保存できる食品	栄養補助食品、ビスケット、チョコレート、氷砂糖、梅干、調味料
貴重品	<input type="checkbox"/>	健康保険証、免許証	
	<input type="checkbox"/>	貴重品	預貯金通帳、印鑑など
	<input type="checkbox"/>	現金	
薬	<input type="checkbox"/>	救急セット	ばんそうこう、ガーゼ、脱脂綿、包帯、綿棒、爪きり、毛抜き、はさみなど
	<input type="checkbox"/>	薬類	常備薬、消毒薬、傷薬、胃腸薬、解熱剤、風邪薬など
	<input type="checkbox"/>	マスク	風邪をひいたとき鼻やのどを保護します。感染予防にもなります。
日用品	<input type="checkbox"/>	ナイフ、缶切り、栓抜き、はさみ	万能ナイフ(ナイフ、缶切り、栓抜きが一緒についたもの)があると便利です。
	<input type="checkbox"/>	洗面用具	歯ブラシ、石けん、タオル、ドライシャンプーなど
	<input type="checkbox"/>	ウェットタオル、ウェットティッシュ	入浴ができないときに、体をふくとスッキリします。
	<input type="checkbox"/>	防災シート、レジャーシート	防寒や雨よけ、着替えのときの目隠しなどにも使えます。
筆記用具	<input type="checkbox"/>	雨具	防寒にも役立ちます。
	<input type="checkbox"/>	筆記用具、メモ帳	油性マジックなど。安否や避難先の連絡等に使います。
衣類	<input type="checkbox"/>	毛布、タオルケット、寝袋、アルミブランケット、さらし	
	<input type="checkbox"/>	服、ジャンパー類	
	<input type="checkbox"/>	下着	多めに用意しておくとき寒いときに重ね着できます。紙製の使い捨てもあります。
	<input type="checkbox"/>	底の厚いスニーカー	
防災	<input type="checkbox"/>	懐中電灯	予備の電池も必要
	<input type="checkbox"/>	携帯ラジオ	予備の電池も必要
	<input type="checkbox"/>	ヘルメット、防災ずきん	
	<input type="checkbox"/>	軍手、厚手の手袋	
	<input type="checkbox"/>	予備電池	
	<input type="checkbox"/>	ろうそく、マッチ、ライター	
	<input type="checkbox"/>	折りたたみ給水容器	水を運ぶときに使います。使わないときはコンパクトになります。
	<input type="checkbox"/>	呼び笛(ホイッスル)	閉じ込められているときなど、助けを求めるときに使います。大声を出して体力が消耗するのを防ぎます。
介護	<input type="checkbox"/>	簡易トイレ	
	<input type="checkbox"/>	紙おむつ	
	<input type="checkbox"/>	おしりふき	
	<input type="checkbox"/>	その他必要なケア用品	



## 【X 様式集】

### 1. 処方箋

③		医師控え用
②		患者控え用
①	調剤用	
<h1 style="margin: 0;">災害用処方せん</h1>		
医療機関等の名称		
患者	氏名	男・女
前・大・昭・平 年 月 日生		医師の氏名
交付年月日		平成 年 月 日
所属する医療機関の名称		
処方		
備考		
調剤済 年月日	平成 年 月 日	薬剤師 氏名

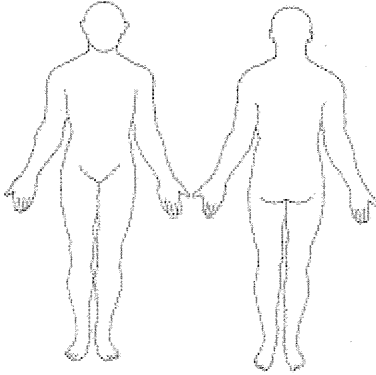
処方箋は3枚綴り（複写）とし、1枚目：調剤用、2枚目：患者控え用、3枚目：医師控え用（診療録添付用）とするのが望ましい。

（日本薬剤師会：薬局・薬剤師の災害対策マニュアル:55,2007.より引用）

2. カルテ用紙

フリガナ		年齢	性別	既往歴	チェック			
氏名			男 女					
現病 (病名)								
	主訴							
	発症時期	月	日	時	分	発生	発見	
	場所					発生	発見	
	血圧	上肢	右・左	/	下肢	右・左	/	
	脈拍	有	無	回/分	呼吸	有	無	回/分
	体温	℃	温かい	冷たい	部位	額	四肢	腹部
	出血					部位図 状態		
	意識障害	有	無					
	胸痛	有	無					
	頭痛	有	無					
痙攣	有	無						
疼痛	有	無						
呼吸苦	有	有						
喘息	有	無						
嘔吐	有	無	吐血	喀血				
下痢	有	無						
排泄の異常	下血	血尿						
外傷	有	無						
むくみ	有	無						
顔色								
行動、様子の異常	有	無						
不正出血	有	無						
妊娠	している	ヶ月						
歯痛	有	無						
振り分け	一般内科、一般外科、整形外科、小児科、喘息治療、歯科、精神科、産科、婦人科							
処置	心肺蘇生	人工呼吸	施行	した	しない			
		胸骨圧迫(心臓マッサージ)	・	AED	した	しない		
	その他( )							
	酸素投与	有	(	リ/分	酸素量不明	)		
	点滴確保	舗液・薬剤						
	刺入部位							
		開始日時	日	時	分			
通知	家族・親族に連絡	済	連絡不能(	不在	通知先不明)			
	連絡済の場合	連絡相手						
	落ち合い時間	:	落ち合い場所					
特記事項								
	記載者職 医 看 介 氏名							

## MEDICAL RECORD Re.

<b>ID</b> _____		<b>Date</b> dd / mm / yy / /		<b>Reception sign:</b>	
<b>Name:</b> _____			<b>Sex</b> <input type="checkbox"/> 1. M <input type="checkbox"/> 2. F		<b>Age</b> _____ <input type="checkbox"/> Y _____ <input type="checkbox"/> M
<b>Present residence</b> <input type="checkbox"/> 1. Own house <input type="checkbox"/> 2. Relative/Friends house <input type="checkbox"/> 3. Camp (Name: _____) <input type="checkbox"/> 4. Other ( _____ )					
<b>Address:</b>					
<b>Pregnancy</b> <input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> Unknown		<b>Past history</b> <input type="checkbox"/> Y (HT / DM / BA / Other _____) <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> Unknown			
<b>Vaccination</b> Measles <input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> Unknown Tetanus <input type="checkbox"/> Y <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> Unknown		<b>Medication</b> <input type="checkbox"/> Y (HT / DM / BA / Other _____) <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> Unknown			
<b>Allergy</b> <input type="checkbox"/> Y (Drug / Food / Other) <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> Unknown		<b>Vital signs</b> BT _____ °C      BP _____ / _____ mmHg PR _____ / min      RR _____ / min Wt. _____ kg      Ht. _____ cm			
<b>Chief complaints</b> <input type="checkbox"/> Pain Site <input type="checkbox"/> Head <input type="checkbox"/> Chest <input type="checkbox"/> Abdomen <input type="checkbox"/> Others ( _____ ) <input type="checkbox"/> Trauma <input type="checkbox"/> Fever _____ days <input type="checkbox"/> Diarrhea _____ days <input type="checkbox"/> Watery <input type="checkbox"/> Bloody <input type="checkbox"/> Nausea <input type="checkbox"/> Vomit <input type="checkbox"/> Sore throat <input type="checkbox"/> Cough <input type="checkbox"/> Dyspnea <input type="checkbox"/> Skin problem <input type="checkbox"/> Eye problem <input type="checkbox"/> Ear problem <input type="checkbox"/> Appetite loss <input type="checkbox"/> Sleepless <input type="checkbox"/> Dizziness <input type="checkbox"/> Others ( _____ )					
<b>Dx No</b>	<b>Diagnosis(Dx):</b>	<b>Drug No</b>	<b>Dose:</b>	<b>Treatment</b> <input type="checkbox"/> 1. Wound care (minor) <input type="checkbox"/> 2. Wound care (deep) <input type="checkbox"/> 3. Injection <input type="checkbox"/> 4. Infusion <input type="checkbox"/> 5. Other	
<b>Relation to disaster</b> <input type="checkbox"/> 1. Y (New / Become worse / Both) <input type="checkbox"/> 2. N <input type="checkbox"/> 3. Unknown				<b>Drug sign:</b>	
<b>Outcome</b> <input type="checkbox"/> 1. Go home <input type="checkbox"/> 2. Refer ( _____ ) <input type="checkbox"/> 3. Admission <input type="checkbox"/> 4. Dead				<b>Dr. sign:</b>	

3. バイタル、主訴収集用紙

JICA 緊急援助隊医療チーム診療録

DATE	SYMPTOMS ( Dx No. / Diagnosis )		TREATMENT ( Drug No. / Dose )		SIGN ( Dr / Drug )
	Dx No.		Drug No.		

(平成20年度 和歌山県看護協会・保健師職能委員会 災害保健活動マニュアルより引用)

健康相談票初回・( )回 保管先		方法 ・面接 ・訪問 ・その他 ・電話 ( )		対象者 ・乳幼児 ・妊産婦 ・寝たきり・難病 ・高齢者 ・その他		担当者(立場)		
						相談日: 年 月 日 場所:		
基本的な状況	氏名				生年月日	M・T・S・H 年 月 日 歳		
	元の場所				連絡先			
	①現住所				連絡先			
	②新住所				連絡先			
	情報源、把握の契機/相談者がいる場合、本人との関係・連絡先					家族について		
	被災の状況							
家に帰れない理由:(自宅倒壊・ライフライン不通・恐怖・避難勧告・その他)								
身体的・精神的な状況	既往歴	現在治療中の病気			内服薬・医療 機材・器具		医療機関	
	現在の状況(自覚症状)					具体的自覚症状(参考) 頭痛・頭重/不眠/倦怠感 /吐き気/めまい/動悸・ 息切れ/肩こり/関節痛・腰 痛/目の症状/咽頭の症状 /咳/痰/便の症状/食欲 /体重減少/精神運動減退 /空虚感/不満足/決断力 低下/焦燥感/ゆううつ/ 朝方ゆううつ/精神運動興 奮/希望喪失/悲哀感		
日常生活の状況		食事	移動	着脱	排泄	意思疎通	保清	その他
	自立							認知症等の 有無
	一部介助							
	全介助							
備考 必要な器具 など								
個別相談活動	相談内容				指導内容			
					今後の計画 解決 継続			





4. 薬物管理用紙

災害時緊急医薬品等一覧表（岡山県 災害時救急医薬品等確保・供給マニュアルより引用）

【救急患者1,000人分】 初動期医薬品

薬効分類	一般名	商品名(例として)	規格	数量
催眠鎮静剤・抗不安剤	ジアゼパム	セルシン注	注射剤 (10mg/A)	100
		セルシン錠	内用剤 (2mg/T)	600
抗けいれん剤	フェノバルビタール	フェノバル注	注射剤 (100mg/A)	100
	フェニトイン	アレピアチン錠	内用剤 (100mg/T)	600
	プロチゾラム	レンドルミン錠	内用剤 (0.25mg/T)	600
解熱鎮痛消炎剤	ペンタゾシン	ペンタジン, ソセゴン注	注射剤 (15mg/A)	100
	ジクロフェナク	ボルタレン錠	内用剤 (25mg/T)	1,200
	合剤	P L 顆粒	内用剤 (1g/包)	1,000
	インドメタシン	インダシン坐剤	坐剤 (50mg/Sup)	200
	アセトアミノフェン	アルピニー, アンヒバ坐剤	坐剤 (100mg/Sup)	200
局所麻酔剤	リドカイン	1%キシロカイン注	注射剤 (1%20ml/V)	30
		キシロカインゼリー	外用剤 (30ml)	30
静脈麻酔剤	チオペンタールナトリウム	ラボナール注	注射剤 (10mg/A)	50
鎮けい剤	ブチルスコポラミン	ブスコパン注	注射剤 (20mg/A)	100
		ブスコパン錠	内用剤 (10mg/T)	600
眼科用薬剤	フルオロメトロン	フルメロール点眼液	点眼液 (0.1%5ml)	30
	硫酸ミクロマイシン	サンテマイシン点眼液	点眼液 (5ml)	30
強心剤	エピネフリン	ボスミン注	注射剤 (1mg/A)	100
	ドパミン	プレドバ注200	注射剤 (200mg/P)	50
ショック	アトロピン	アトロピン注	注射剤 (0.5mg/A)	100
	デスラノシド	ジギラノーゲンC	注射剤 (0.4mg/A)	50
徐脈	ジゴキシン	ジゴシン錠	内用剤 (0.25mg/T)	100
強心配糖体				



薬効分類	一般名	商品名(例として)	規格	数量
不整脈用剤	リドカイン	2%キシロカイン静注	注射剤 (5ml/A)	50
	ジソピラミド	リスモダンP注	注射剤 (50mg/A)	50
		リスモダンカプセル	内用剤 (100mg/C)	100
	メキシレチン	メキシチールカプセル	内用剤 (100mg/C)	100
利尿剤 (利尿・降圧)	フロセミド	ラシックス注	注射剤 (20mg/A)	50
		ラシックス錠	内用剤 (40mg/T)	500
	グリセリン	グリセオール注	注射剤 (10%200ml/P)	20
	スピロノラクトン	アルダクトンA錠	内用剤 (25mg/T)	300
血圧降下剤	ニカルジピン	ペルジピン注	注射剤 (2mg/A)	50
	ニフェジピン	アダラートカプセル	内用剤 (10mg/C)	300
		アダラートL錠	内用剤 (10mg/T)	300
	エナラプリル	レニベース錠	内用剤 (5mg/T)	600
	アテノロール	テノーミン錠	内用剤 (50mg/T)	100
血管拡張剤	ニトログリセチン	ミリスロール注	注射剤 (5mg/A)	50
		ニトロペン舌下錠	内用剤 (0.3mg/T)	100
	硫酸イソソルビド	フランドル錠	内用剤 (20mg/T)	500
		フランドルテープ	外用剤 (40mg/枚)	50
抗ヒスタミン剤	ジフェンヒドラミン	レスカル注	内用剤 (5ml/A)	50
	クロルフェニラミン	ポララミン復効錠	内用剤 (6mg/T)	500
呼吸器用剤	アミノフィリン	ネオフィリン注	注射剤 (250mg/A)	500
	テオフィリン	テオドール錠	内用剤 (100mg/T)	500
	気管支拡張	サルブタモール	サルタノールインヘラー	エアゾル (本)
消化器用剤	シメチジン	タガメット注	注射剤 (200mg/A)	100
		タガメット錠	内用剤 (200mg/T)	500
	消化酵素剤	エクセラーゼ錠	内用剤 (T)	500
		ストミラーゼカプセル	内用剤 (C)	(いずれか1種類)
	メトクロプラミド	プリンペラン注	注射剤 (10mg/A)	50
		プリンペラン錠	内用剤 (5mg/T)	200
		ロペラミド	ロペミンカプセル	内用剤 (1mg/C)
センノサイドA・B	プルゼニド	内用剤 (12mg/T)	200	
副腎ホルモン剤	メチルプレドニゾロン	ソルメドロール注	注射剤 (125mg/V)	100
	プレドニゾロン	水溶性プレドニン注	注射剤 (20mg/A)	50
		プレドニゾロン錠	内用剤 (5mg/T)	500
糖尿病剤	インスリン	ノボリンR,ヒューマリンR	注射剤 (10ml/V)	5

殺菌消毒剤	オキシドール		外用剤	20
	塩化ベンザルコニウム		外用剤 (10%500ml)	20
	エタノール		外用剤 (80%500ml)	20
	ポピドンヨード手術用		外用剤 (500ml)	10
	ポピドンヨード含そう用	イソジンガーグル	外用剤 (250ml)	3

薬効分類	一般名	商品名(例として)	規格	数量	
外皮用化膿疾患用剤	BC+FRM	バラマイシン軟膏	外用剤 (250g)	10	
		リンデロンVG軟膏	外用剤 (5g)	50	
バップ剤		MS温シップ・冷シップ	外用剤 (100g)	100	
輸液電解質製剤	ブドウ糖液	5%ブドウ糖液	注射剤 (20ml/P) 注	100	
			射剤 (500ml/P)	30	
	生理食塩液	生理食塩液	注射剤 (20ml/P) 注	100	
			射剤 (100ml/P)	100	
	乳酸リンゲル加糖液	ハルトマンD液	注射剤 (500ml/P)	50	
電解質輸液	ソリタT3号	注射剤 (500ml/P)	50		
血液凝固阻止剤	ヘパリンナトリウム	ノボ・ヘパリン	注射剤 (10ml/V) (1000IU/ml)	30	
止血剤	カルバゾクロム	アドナ注	注射剤 (50mg/A)	100	
		アドナ錠	内用剤 (30mg/T)	500	
	トラネキサム酸	トランサミン注	注射剤 (250mg/A)	100	
		トランサミン錠	内用剤 (250mg/T)	500	
タンパク分解酵素阻害剤	メシル酸ガベキサート	FOY	注射剤 (100ml/V)	30	
解毒剤	炭酸水素ナトリウム	メイロン注	注射剤 (7%20ml/A)	50	
抗生物質製剤	セファゾリン	セファメジン注	注射剤 (1g/V) 内	50	
	セフェム系	セファクロル	ケフラルカプセル	用剤 (250mg/C) 内	1,000
		ケフラル細粒	用剤 (100mg/g)	500	
ペニシリン系	ピペラシリンナトリウム	ペントシリン注	注射剤 (1g/V)	50	
	ホスホマイシン系	ホスホマイシン	ホスミン錠	内用剤 (500mg/T)	500
	エリスロマイシン	エリスロシン錠	内用剤 (100mg/T)	500	
広範囲抗菌剤	レボフロキサシン	クラビット錠	内用剤 (100mg/T)	500	
毒素及びトキソイド	破傷風トキソイド		注射剤 (10ml/V)	20	
生物学的製剤	抗破傷風人免疫グロブリン	テタノブリン	注射剤 (250単位/V)	5	
	人血清アルブミン		注射剤 (25%50ml/V)	20	

	人免疫グロブリン		注射剤 (3ml/V)	5
浣腸剤	グリセリン		浣腸剤 (60ml/本)	10

災害時救急医薬品等一覧表 (岡山県 災害時救急医薬品等確保・供給マニュアルより引用)

【避難所等 (5,000 人分)】 初動期後の医薬品 (一般薬)

薬効分類	薬効	剤型	単位	数量
総合感冒薬	かぜ薬	内用剤	T	15,000
解熱鎮痛薬	解熱鎮痛薬	内用剤	T	5,000
消化器官用薬	制酸薬	内用剤	T	1,000
	整腸薬	内用剤	T	1,000
	消化薬	内用剤	T	1,000
	止瀉薬	内用剤	T	1,000
	瀉下薬	内用剤	T	1,000
呼吸器官用薬	鎮咳去痰薬	内用剤	T	1,000
	含嗽薬	水剤	本	250
アレルギー用薬	抗ヒスタミン薬	外用剤	本	100
外皮用薬	殺菌消毒薬	外用剤	本	100
眼科用薬	点眼薬	外用剤	本	100
耳鼻科用薬	鼻炎用点鼻薬	外用剤	本	100
滋養強壮保健薬	総合ビタミン薬	内用剤	T	10,000
パップ剤	消炎薬	外用剤	枚	500
救急絆創膏	殺菌消毒薬	外用剤	枚	1,000

医薬品等の発注記録（岡山県 災害時救急医薬品等確保・供給マニュアルより引用）

医 薬 品 等 発 注 書		No.
		年 月 日
殿		
		所在地； 名 称； TEL (      )      -
下記のとおり救急医薬品等を発注します。		
1 発注医薬品等		
2 受領日時及び場所		
(1) 受領日時      年      月      日      時		
(2) 受領場所		
		発注担当者サイン

医薬品等の受領記録

医 薬 品 等 受 領 書		No.			
		年 月 日			
殿					
		所在地； 名 称； TEL (      )      -			
下記のとおり救急医薬品等を受領しました。					
1 受領医薬品等					
品 名	規 格	数 量	品 名	規 格	数 量
2 受領日時及び場所					
(1) 受領日時      年      月      日      時					
(2) 受領場所					
				受取担当者サイン	